



# 第1回新人助産師研修

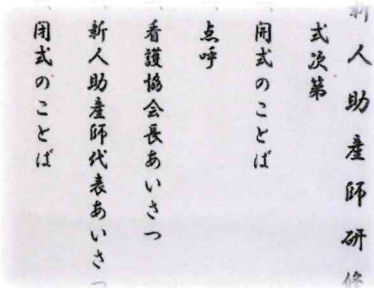


於：山口県看護研修会館

令和5年7月29日（土）、新人助産師研修の開講式と第1回新人助産師研修が開催されました。今年の新人助産師研修参加者は、13名です。

今年度も全6回の新人助産師研修を開催致します。研修会を通して助産師としての知識を深め、同期の助産師間での情報交換やネットワーク構築の場として役立てて頂きたいと思っております。

開講式後に、第1回新人助産師研修・公開講座が開催されました。午前は、山口大学医学部附属病院 小児科医師 松隈知恵先生に「新生児のフィジカルアセスメント」、午後は、山口大学医学部附属病院 新生児集中ケア認定看護師 三木砂織先生に「新生児の看護」についてご講義頂きました。共に、公開講座14名の参加がありました。



午前の講義では、「言葉で自分の異常を伝えることが出来ない（新生児に対し常に関心を払い変化を見逃さない）」「赤ちゃんのそばにいて視る、聴く、触る」「母体情報（母体合併症、妊娠分娩経過）がカギ」「出生後に起こりやすい疾患や病態を理解する」という新生児フィジカルアセスメントの特殊性について再認識し、理解を深めることが出来ました。「not doing well」に気付き異常の早期発見に努めたいと思っております。実際に治療を行っている場面の動画はとても感動的でした。

午後の講義では、「新生児看護の特徴」「NICUに入院される母親の心理過程」「NICUの家族支援の実際」について学ぶことが出来ました。こころのケアの基本については、様々なケースについて具体的に説明して頂き大変勉強になりました。出産後、母子分離状態となった母親・家族に対し、どのような対応をすることが良いのかと迷うことがありましたが、アイコンタクト、触れ合い、声かけにより信頼関係を築き、母親・家族の心が少しでも軽くなるような看護を志していきたいと思っております。



今後も、新人助産師の助産実践能力の向上を図る為、様々な研修を計画しています。公開講座へのご参加、お待ちしております。

山口県看護協会 助産師職能委員会





# 第5回新人助産師研修



於：山口県看護研修会館

令和6年1月13日（土）、第5回 新人助産師研修が開催されました。

山口大学医学部附属病院 産婦人科医師 品川征大先生に「臨床病態生理の基本」「妊娠と糖尿病」(公開講座)について、ご講義頂きました。

新人助産師13名、午後の公開講座には7名の参加がありました。



午前は、「母体の妊娠による生理的変化」「胎児発育不全」「妊娠高血圧症候群」「前置胎盤」「羊水過少・羊水過多」について詳しくお話し頂き、知識を深めることが出来ました。

午後は、「妊娠糖尿病、妊娠中の明らかな糖尿病、糖尿病合併妊婦の妊娠期・分娩期の管理」「妊娠糖尿病既往妊婦の産後のフォローアップ」「妊娠糖尿病既往妊婦から出生した新生児の病態とケア」の内容でご講義頂きました。

最後は「具体的事例」の紹介もあり、新人さんもイメージし易く、より深く理解する事が出来たのではないのでしょうか。

専門的で難しい内容ですが、臨床ではハイリスクについて理解し、いつでも対応出来るような能力が必要です。

今回の研修が今後活かされる事を期待しています。



アンケートで次のような感想がありました。

- 妊娠によって体内のシステムが変わることで、母体や胎児に影響を与えてしまう糖尿病について学ぶことが出来た。
- 事例紹介では、考え方をシフトできるよう関わったり、自信を持てるように励ましたり、助産師にできる日々の援助はたくさんあると気づくことが出来た。
- 産後のフォローアップやメンタルヘルス、プレコンセプションは今の自分には想像できなかった支援だった。
- 入院中、分娩期、産褥期だけでケアを終わらせるのではなく、将来を見据えての指導等、患者と関っていくことが大切だと学べた。
- 講義を聞き将来妊娠した時に自分も糖尿病になりそうと思ったので、食生活に気を付けたいと思う。





# 第6回新人助産師研修



於：山口県看護研修会館

令和6年2月17日（土）、第6回新人助産師研修「心に残った場面」の症例発表会、新人助産師研修会閉講式が開催されました。

この一年間で自分が経験した一番心に残っている症例を発表してもらいました。パワーポイントを使用した大変分かりやすい内容でした。

山口大学大学院医学系研究科 保健学専攻準教授 亀崎 明子先生より、一人一人に対し丁寧な講評を頂き、自分自身の看護観・助産観について振り返る大変良い機会になったと思います。

また、他の施設に勤務する同志達の体験や学びを聴いた事で、今後自分が同じような症例に出合った時に役立てていけるのではないかと思います。一日で、13例の症例を体験できた貴重な研修だったのではないのでしょうか。

新人の皆様の成長を痛感する事が出来た一日でした。



閉校式では、山口県看護協会 西生 敏代会長より、「山口県での助産師としての活躍を期待しています」とエールを頂きました。

また、新人助産師研修受講者代表として田村 美揮さんより「6回にわたる研修を通し、それぞれ学びを深め、実践に活かすことが出来たと思います。ここでできた仲間との交流を通して、より助産師として働くことへの意欲に繋げることが出来ました。研修で得た知識を再度確認し、実践に活かしていきます。」と心強い意気込みを聞くことが出来ました。

職能委員一同、皆様の今後のご活躍を期待しています。

